

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

新規実施項目のお知らせ

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
この度、下記の項目について新規実施項目としてご案内をいたします。
今後とも当臨床検査センターをご利用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

■ 受託開始日 2024 年 1 月 4 日 (木)

■ 新規実施項目内容

コード	検査項目 JLAC10	採血量 (mL)	容器	提出 温度	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考	
0239000 (5971)	クラミジア/淋菌 rRNA同時同定 (TRC)	分泌物	TRC 専用容器	冷蔵	1	270 ※7	TRC	(-)	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。分泌物、部分尿:検体に大量の血液が混入すると、正しい結果が得られないことがあります。男性の場合、反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。	
0239300 (5974)	6B615-0000-050-888	部分尿								
0239600 (5977)	6B615-0000-001-888 6B615-0000-079-888	うがい液								
0239100 (5972)	クラミジアトラコマチス rRNA (TRC)	分泌物	TRC 専用容器	冷蔵	1	193 ※7	TRC	(-)		
0239400 (5975)	5E021-0000-050-888	部分尿								
0239700 (5978)	5E021-0000-001-888 5E021-0000-079-888	うがい液								
0239200 (5973)	淋菌rRNA (TRC)	分泌物	TRC 専用容器	冷蔵	1	204 ※7	TRC	(-)		尿検体は最後の排尿から2時間以上経過後に初尿を採取ください。うがい液:検体採取前の食事、うがい、歯磨きなどは避けてください。
0239500 (5976)	6B610-0000-050-888	部分尿								
0239800 (5979)	6B610-0000-001-888 6B610-0000-079-888	うがい液								

※7: 微生物学的検査判断料

※別途項目コードのご案内を送付いたします。ご施設様でご利用の電子カルテメーカー様へ
対応いただくよう、ご連絡をお願いいたします。

臨床意義

日本における性感染症は増加傾向にあり、その原因菌となる、クラミジアトラコマチス (*Chlamydia trachomatis* : CT) および淋菌 (*Neisseria gonorrhoeae* : NG) への早急な対策が求められている。

これらの感染症の診断は、尿道や子宮頸部からの分泌物や擦過物等の臨床検体の培養による分離・同定検査、免疫学的な検査や遺伝子検査によりクラミジアトラコマチス又は淋菌を証明することで行われている。しかし、これらの検査は、クラミジアトラコマチスと淋菌を別々に検出する操作を行う必要があり、これに代わる迅速な鑑別方法の開発が望まれている。

本検査は、同一の検体から、同一の試験管内で同時にクラミジアトラコマチスおよび淋菌をそれぞれ単独で検出する検査である。

▼TRC法とPCR法の比較

【クラミジアトラコマチス】

		PCR		計
		(+)	(-)	
TRC	(+)	9	0	9
	(-)	0	24	24
計		9	24	33

一致率：100%

【淋菌】

		PCR		計
		(+)	(-)	
TRC	(+)	15	0	15
	(-)	0	24	24
計		15	24	39

一致率：100%

※採取容器の配布について

TRC専用容器（変性試薬チューブ）及びスワブはご要望に応じて必要数をお届けいたします。

事前に医師会臨床検査センターへご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

スワブ検体 採取方法

- 咽頭検体：食事、うがい、歯磨き、ガムを噛むなどの行為を控えて下さい。
- 尿道擦過物：最後の排尿から2時間以上経過していることを確認して下さい。
- 子宮頸管擦過物：過剰な粘液がある場合は、クリーニング用懸綿子で取り除いて下さい。スワブを引き抜くときは粘膜に触れないように注意して下さい。

1. スワブを患部に接触させます。



2. スワブを試験管または輸送チューブに入れます。
(速やかに3.に進んでください。困難な場合は
冷蔵で48時間以内に次の工程に進んで下さい)



3. スワブを取りだし、変性試薬チューブに3秒以上
を目安に十分に攪拌し懸濁します。



4. キャップを締めて、3~5回転倒混和し十分に
混合します。
(懸濁液は、冷蔵で24時間、-20℃以下で
1ヵ月間保存可能です)



男性尿検体 採取方法

採取前の注意事項：

最後の排尿から2時間以上経過していることを確認して下さい。

1. 初尿（出始めから20mL）を採尿カップに入れます

初尿を20 mL

入れ過ぎ注意！



2. 変性試薬チューブに0.5mL入れます

0.5 mL

採取後3時間以内に！



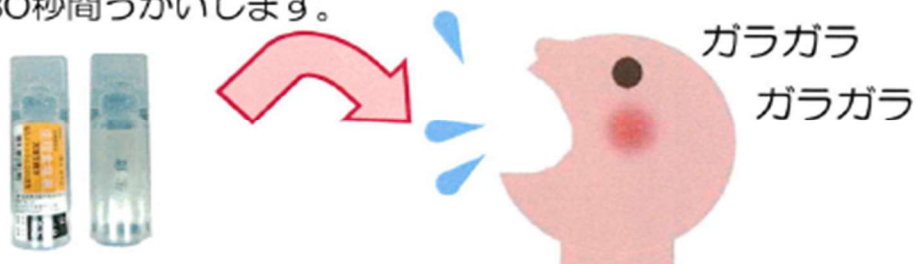
3. 尿検体を添加後、蓋を締め、3~5回転倒混和し十分に混合します
(この段階で、冷蔵で24時間、-20℃以下で1ヵ月間保存可能)

うがい液 採取方法

採取前の注意事項：

うがい液採取前は歯磨き、ガムを噛むなどの行為を控えてください。

1. 0.9%生理食塩水 20mLを口に含み、喉でガラガラと勢いよく10～30秒間うがいします。

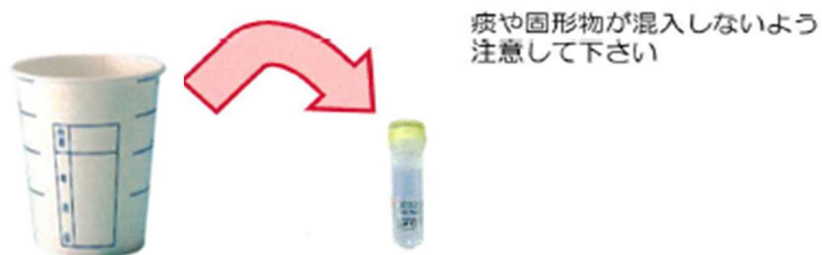


2. うがい液を保存容器に吐き出し、回収します。
(痰が入らないように注意してください。)



3. 2で得られたうがい液0.5 mLを変性試薬チューブに添加

採取後
1時間以内に



4. 検体添加後、キャップを締め、十分に混合します。
(この段階で、冷蔵で24時間、 -20°C 以下で1カ月間保存可能)